

## これまでの博士学位論文（主査：中佐啓治郎）

1. 陳 効列 「高強度鋼の水素脆化割れにおけるき裂の枝分かれに関する研究」 昭和63年（1988年）（注）
2. 劉 建平 「水素チャージしたチタン合金の水素化物形成挙動および機械的性質に関する研究」 平成3年（1991年）（注）
3. 張 東坤 「セラミック溶射皮膜のせん断はく離強度評価に関する研究」 平成12年（2000年）3月
4. 高 三徳 「二軸引張り応力を受ける溶射皮膜の割れおよびはく離形態の解析およびシミュレーション」 平成12年（2000年）3月
5. 王 栄光 「窒素イオン注入による純チタンの耐食性向上に関する研究」 平成12年（2000年）9月
6. 西田秀高 「火力発電所高温部余寿命評価技術の開発に関する研究」 平成12年（2000年）9月
7. 顔 旭 「チタンの表面改質と表面強度評価に関する研究」 平成13年（2001年）9月
8. 高 琳 「ガスタービン用熱遮蔽溶射皮膜のはく離強度評価に関する研究」 平成14年（2002年）9月
9. Dharma Raju Tokachichu 「A Study on Deformation and Delamination Behaviour of Thin Films under Repeating Nanoindentation」 平成15年（2003年）9月
10. 丁 龍先 「TiB<sub>2</sub>粉末を利用したチタン合金の表面コーティングおよび表面強度評価に関する研究」 平成16年（2004年）9月
11. 李 成為 「繰返し接触荷重を受ける高圧高速フレイム WC-Co サーメット溶射皮膜の表面および界面損傷に関する研究」 平成16年（2004年）9月
12. Manal Gomaa Mahmoud Osman Ali 「Study on Effect of Surface Treatments on Corrosion Behavior of Steels in Accelerated Seashore Environment」 (加速海岸環境中における鋼の腐食挙動に及ぼす表面処理の影響に関する研究) 平成17年（2005年）3月
13. 鄭 錦華 「SiC スパッタ薄膜の摩擦・摩耗特性に関する研究」 平成17年（2006年）9月
14. 張 清廉 「鋼のスパッタエッチングによる円錐状表面炭化物の生成に関する研究」、平成17年（2006年）9月

（注） 当時、助教授は主査にはなれませんでした。が、実質上研究を指導しました。